

直方文化財散歩・記念碑巡り
下境地区の炭鉱関係の遺跡

三井本洞炭鉱の歴史

直方で中央大手資本が経営していたのは八月号で紹介した三菱新入炭鉱と三井本洞炭鉱でした。

三菱新入炭鉱の各坑の所在地は次の通り各地に分散していました。

- 第一坑 上新入
- 第二坑 山部
- 第三坑 下新入
- 第四坑 植木
- 第五坑 大字直方

これに対して三井本洞炭鉱は下境の川西地区にありました。明治中期に開坑した歴史の古い炭鉱で、許斐鷹介など地元の炭鉱主たちが経営していました。明治三五（一九〇二）年に麻生太吉が本洞坑と藤棚坑を統合して藤棚一坑・二坑と改称し、明治四〇（一九〇七）年に三井鉱山が買収して三井本洞炭鉱第一坑・第二坑と改称しました。

なお本洞というのは藤棚と異なり地名ではなく、許斐家代々の家号から名付けられたものでした。

その後、本洞炭鉱の出炭状況が悪化して大正十（一九二一）年に全坑休業したが遂に回復できず、大正十五（一九二六）年に三菱新入炭鉱に先立ち三井鉱山は直方から撤退しました。

炭鉱頭領・神谷清三之碑

彦山川西岸の堤防道路の西側道路を走る直方市コミュニティバス武谷線猿田バス停の北側、バス道路から細道を入った下境四国霊場札所内の御堂に隣接する背の高い石碑で明治三五（一九〇二）年に建立されました。

同年に刊行された「筑豊炭業頭領傳」に写真と詳細な経歴が掲載されており、山本作兵衛翁の炭鉱絵画に記録された明治時代の炭鉱の興味深い逸話を読むと、現代とは今昔の感があります。

各地の炭鉱を経て長年にわたり本洞炭鉱の頭領を務めた功績が裏面に漢文で記されています。

三井本洞坑死者供奉像

前項の場所からバス道路に戻り左折して西へ進み坂道を上った高台にある住宅団地の一角のコンクリート

製の堂内に安置されていますが、道路に背を向けているため非常に見つけにくいです。

左側に地藏菩薩、右側に不動明王の像が並んでいて、下部に「三井本洞坑死者供奉像」と書かれており、坑内での殉職者を含む物故者の慰霊のために建立されたと思われます。

三菱新入炭鉱については、現地にこうした文字が残された遺跡はなくその意味で貴重な存在です。



三井本洞坑死者供奉像



炭鉱頭領・神谷清三之碑

人の動き

■人口 56,027 人（－377） ■世帯数 27,382 世帯（＋52）
[うち外国人 591 人]

男 26,432 人（－235）
女 29,595 人（－142）

令和 3 年 8 月末現在
() は前年同月との比較

<発行>直方市

〒822-8501 福岡県直方市殿町 7 番 1 号

URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>

<発行日>毎月1日(月1回)

<編集>秘書広報課秘書広報係

TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107

E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp

<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ



直方の歴史と文化

文 桼 正 澄

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ
推進課社会教育係 (TEL 25-23326)

インターネット
情報提供サービス

SNS やウェブサイト様々
な情報発信を行っています。
ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで